



庄司紗矢香 & ヴィキングル・オラフソン

J.S.バッハ:

ヴァイオリン・ソナタ 第5番 へ短調 BWV1018

J.S. Bach: Violin Sonata No.5 in F minor, BWV1018

バルトーク:ヴァイオリン・ソナタ 第1番

Bartók: Violin Sonata No.1

プロコフィエフ:5つのメロディ 作品35 bis

Prokofiev: 5 Melodies, Op.35 bis

ブラームス:

ヴァイオリン・ソナタ 第2番 イ長調 作品100

Brahms: Violin Sonata No.2 in A major, Op.100

©Norizumi Kitada

Sayaka Shoji, Violin & Víkingur Ólafsson, Piano



2020.12.18 [金] 18:30開場・19:00開演

水戸芸術館コンサートホールATM

料金(全席指定): 一般 5,500円、U-25 (25歳以下) 1,800円

※U-25チケットの取り扱いの水戸芸術館のみ

※当館では新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を行っており、通常より間隔を空けて配席する予定です。

ただし今後の感染状況により、座席が追加される場合や席の移動をお願いする場合があります。

あらかじめご了承の上、お求めください。

◎チケット発売:10月31日[土]

財団運営維持会員先行予約:10月27日[火] ※電話・WEB予約のみ

水戸芸術館メンバーズ先行予約:10月28日[水] ※電話・WEB予約のみ

※会員先行予約がありますので、一般発売日の10月31日の時点で、

水戸芸術館取り扱い分が終了している場合があります。

主催:公益財団法人 水戸市芸術振興財団

水戸芸術館
ART TOWER MITO

©Ari Magg

世界に羽ばたく庄司紗矢香が、再び水戸芸術館に帰ってくる ヴィキングル・オラフソンとのデュオによる本格的リサイタル

1999年、パガニーニ国際ヴァイオリン・コンクールで優勝して以来、20年以上の長きにわたり世界の第一線で活躍を続けている庄司紗矢香が、再び水戸芸術館に帰ってきます。庄司自身が中心メンバーとなって結成された専属楽団「新ダヴィッド同盟」でのめざましい活躍のほか、2005年と2012年にはリサイタルも行い、音楽家として“深化”する姿を水戸芸術館のステージに刻んできました。

水戸芸術館では8年ぶりとなる今回のリサイタルの共演者には、アイスランド出身のピアニスト、ヴィキングル・オラフソンが選ばれました。庄司はオラフソンについて「インテリジェンスと抒情と21世紀の感覚が面白い具合に融合された、新しいタイプ

のアーティスト」と語っています。“アイスランドのグレン・グールド”（ニューヨーク・タイムズ紙）とも評される鬼才との共演は、どのような化学反応を起こすのでしょうか。

「演奏したいと思う曲を素直に並べた」というプログラムは、バロック時代のバッハ、ドイツ・ロマン派のブラームス、そして20世紀の作品まで、結果的にこれ以上ないと言えるほどバランスよく配置されました。庄司が長年弾くことを夢見てきたというバルトーク、オラフソンが庄司との共演でぜひ弾きたいと熱望したというブラームスが、前半と後半のそれぞれの柱になっています。新世代のデュオに、ぜひご注目ください。

庄司紗矢香 (ヴァイオリン)

Sayaka Shoji, Violin

「絶大なスタミナと何事にもひるまない精神、希有な音楽家」とグラモフォン誌に評された庄司紗矢香は、ユーリ・テミルカーノフ、ズービン・メータ、ジャンアンドレア・ノセダ、マリス・ヤンソンス、パーヴォ・ヤルヴィ、ヴラディーミル・アシュケナージなどの指揮者

や、サンクトペテルブルク・フィルハーモニー交響楽団、マリインスキー劇場管弦楽団、NHK交響楽団、サンタ・チェチーリア国立アカデミー管弦楽団といった世界を代表するオーケストラと共演を重ねている。

2019/20年シーズンは、エサペッカ・サロネン指揮フィルハーモニア管弦楽団との日本ツアーや、クリーヴランド管弦楽団、ユーリ・テミルカーノフ指揮サンクトペテルブルク・フィルハーモニー交響楽団などと共演。

リサイタルではジャンルカ・カシオーリとベートーヴェンのピアノとヴァイオリンのためのソナタ全集を録音。今シーズンはニコラ・アンゲリッシュとモディリアーニ弦楽四重奏団と共に室内楽のコンサートを行う。

1999年にパガニーニ国際ヴァイオリン・コンクールで最年少および日本人として初めて優勝。2010年芸術選奨新人賞、2016年毎日芸術賞を受賞。

使用楽器は、上野製薬株式会社より貸与された1729年製ストラディヴァリウス“レカミエ (Recamier)”である。



ヴィキングル・オラフソン

(ピアノ)

Víkingur Ólafsson, Piano

1984年アイスランド生まれ。2008年ジュリアード音楽院卒業。2012年にはレイキャヴィーク・ミッドサマー音楽祭を創設して芸術監督を務める。また、2015年からはスウェーデンのヴィンターフェスト音楽祭の芸術監督に就任した。

アイスランド音楽賞、アメリカン・スカンジナビア社会文化賞、ジュリアード・バルトーク・コンクール賞、ロータリー財団文化賞など、多くの賞を受賞。ドイツ・グラモフォンと専属契約を結び、「フィリップ・グラス：ピアノ・ワークス」のリリースで鮮烈なデビューを果たす。その後、「バッハ・カレイドスコープ」にて、2019年BBCミュージック・マガジン・アワードのベスト器楽アルバム及びアルバム・オブ・ザ・イヤー賞他を受賞。フランス放送フィルハーモニー管弦楽団、フィルハーモニア管弦楽団他多数の著名オーケストラ、指揮者と共演を重ねている。

オラフソンは伝統的なコンサート・ピアニストであると同時に、ビョークやオーラヴル・アルナルズ等コンテンポラリー・コンポーザーたちともコラボレーションを行い新たな世界を切り拓いている。

●チケット取り扱い：

水戸芸術館 (9:30~18:00/月曜休館) ◎エントランスホール内チケットカウンター ◎チケット予約センター 029-231-8000 ◎ウェブ予約 <https://www.arttowermito.or.jp/ticket/>

e+ (イープラス) <https://eplus.jp> (PC・携帯) /かわまた楽器店 029-226-0351 (10:00~18:00 定休日[木])

ヤマハミュージッククリエティング水戸店 (店頭販売のみ) (10:30~18:00 定休日[火・水] /お問い合わせ 029-244-6661)

●U-25チケットについて (枚数限定)

◎25歳以下の方が対象のお得なチケットです (未就学児不可)。◎ご購入いただきましたご本人様のみご利用可能です。

◎ご入場の際には、年齢を証明するものが必要となります。◎取り扱いは水戸芸術館のみとなります。

●お問合せ

水戸芸術館チケット予約センター Tel.029-231-8000/営業時間：9:30~18:00 (月曜休館) ◎車椅子のお客様、盲導犬、介助犬同伴のお客様は、座席へのスムーズなご案内のため、予約時にお知らせください。◎未就学児のご入場はご遠慮ください。◎公演中止の場合を除き、一度購入されたチケットの払い戻し、交換等は出来ませんのでご了承ください。

【新型コロナウイルス感染拡大防止に関するお客様へのお願い】

◎新型コロナウイルス感染症の再拡大など、状況の悪化により内容の変更や公演の中止または延期を余儀なくされる場合もございますので、最新情報は当館ウェブサイトやSNSにてご確認ください。◎館内ではマスクのご着用をお願いいたします。◎まわりの方とは距離をおとってください。◎体調がすぐれないお客様はご来場をお控えください。◎手洗いと手指の消毒にご協力ください。◎クロークのご利用は当面の間、中止させていただきます。

●交通のご案内：JR 常磐線水戸駅北口より、バスターミナル4~7番のりばから泉町1丁目下車、徒歩2分。

水戸芸術館 水戸市五軒町1-6-8 〒310-0063

TEL.029-227-8111 <https://www.arttowermito.or.jp/>

